

SSK JALSA

## 長野県支部だより No.44



発行者 日本 ALS 協会 長野県支部事務局

長野市上野 1-680-2 原山方

Tel 026-263-6335

Fax 026-243-8820

E-mail [als.naganoken@gmail.com](mailto:als.naganoken@gmail.com)

長野県支部ホームページ <https://als-nagano.jp/>

### 令和8年度総会 & 春の交流会のご案内

- 日時 令和8年6月13日（土） 12時30分～16時 受付12時～
- 場所 麻績村地域交流センター3階ホール
- 参加費 会員：無料 非会員：100円（オンライン参加は無料）
- 内容

I 総会

II ALSコミュニケーションの極意を考える

ハイテクコミュニケーションツールの説明

副支部長 中川真人氏

ローテクコミュニケーションツールの説明

運営委員 太田貴文氏

赤沼さち子氏

展示機器の説明

（株）麻屋家具製作所

（株）クレアクト

展示機器の体験

（ミヤスク・イヤアイズ・TCスキャン・透明文字盤等）

III 交流会

# 目次

## 令和8年度の案内

- ①令和8年度 総会&春の交流会の案内
- ②令和8年度 おしゃべり広場の案内
- ③令和8年度 第1回 喀痰吸引等研修の案内

## 令和7年度の報告

- ④令和7年度 県への要望書の回答
- ⑤令和7年2/7 おしゃべり広場の報告
- ⑥令和7年2/8 呼吸リハビリ研修会の報告・アンケート結果
- ⑦わが家のりゅうぎ
- ⑧長野県支部貸出機器一覧
- ⑨支部の動きと会員用LINEオープンチャットのお知らせ
- ⑩中川真人副支部長の福祉用具相談窓口・支部連絡先
- ⑪企業広告

## 令和8年度 議案書

\*総会を欠席される会員の方は、裏表紙の裏にある書面表決用紙のご提出をお願いいたします。

- ① 令和7年度 活動報告
- ② 令和7年度 決算①～⑤
- ③ 令和8年度 役員人事(案)
- ④ 令和8年度 活動方針と活動計画(案)
- ⑤ 令和8年度 予算(案)①～⑤

書面表決用紙(総会欠席の会員用)

令和8年度 総会&春の交流会 参加申込書

# 令和8年度総会 & 春の交流会のご案内

- 日時 令和8年6月13日（土） 12時30分～16時 受付12時～
- 場所 麻績村地域交流センター3階ホール
- 参加費 会員：無料 非会員：100円（オンライン参加は無料）

## I 総会 12：30～13：00

支部長挨拶 来賓挨拶 議事提案 採決

書面表決について規約（第13条）通り、特にお申し出がない場合は、総会運営上（定足数）の都合により、議長に表決を委任されたものとして扱わせていただきます。

## II ALSコミュニケーションの極意を考える 13：10～14：40

- ハイテクコミュニケーションツールの説明  
日本ALS協会長野県支部副支部長 中川真人氏
- ローテクコミュニケーションツールの説明  
日本ALS協会長野県支部運営委員 太田貴文氏  
赤沼さち子氏
- 展示機器の説明 (株)麻屋家具製作所  
(株)クレアクト
- 展示機器の体験

休憩 14：40～15：00

## III 交流会 15：00～16：00

令和8年6/6（土）までに下記のQRコードか添付の参加申込書をFAX・メールでお送りください。当日総会に出席される会員の方は、同封の議案書（支部だよりNo44に掲載されている）をご持参ください。総会に欠席される会員の方は下記QRコードか支部だよりの裏表紙にある用紙で書面表決をお願いいたします。

開催1週間前にオンライン参加の方も含め、念のため全員にzoomのURLを送りますので必ずメールアドレスをご記入ください。

2050ゼロカーボンに向けたアクションとしてペットボトル等削減のため、飲み物は各自持参・ごみの持ち帰りにご協力ください。

<お問合せ・お申込み>

日本ALS協会長野県支部 事務局 原山  
TEL:026-263-6335 FAX:026-243-8820  
akane\_harayama@tetote7107.org

総会欠席者用書面表決  
QRコード



参加申し込み  
QRコード





# R8 年度もやります!!

## 難病患者さんの 「おしゃべり広場」 Zoom 開催

笑いあり、貴重な情報あり、毎回好評のおしゃべり広場。

それぞれ好きな飲み物やお菓子を食べながら気楽におしゃべりしましょう。

同じ病気の仲間となら話しやすいかも。明日の希望や勇気が持てるかも。

開催日時 年 5 回 (基本 第 2 土曜日)

1 回目 令和 8 年 5 月 16 日 (土) ⇒ 第 3 土曜日

2 回目 7 月 11 日 (土)

3 回目 9 月 12 日 (土)

4 回目 12 月 12 日 (土)

5 回目 令和 9 年 2 月 6 日 (土) ⇒ 第 1 土曜日

\*時間はいずれも 14:00~16:00 (2時間程度)

R8 年度最終回の R9 年 2 月 6 日 (土) は 現地(東信地区)と Zoom のハイブリット開催

\*国立精神・神経医療研究センターで呼吸リハビリ第一人者の寄本先生、有明先生にもご参加頂きますので、アドバイス頂けるチャンスです。

- ① 呼吸リハビリ(排痰補助装置や LIC トレーナー)の体験コーナー
- ② 様々な相談コーナー(車いすのこと、姿勢のこと、リハビリのことなど)

場所などの詳細は決まりましたらお知らせします。

対象者 長野県内の難病患者さん・ご家族 (会員・非会員・疾患名は問いません)  
\*Zoom に接続するための機器、インターネット環境等は各自ご準備ください。  
\*当日の Zoom 招待は 14 時 (5 分前から) となります。

参加費 無料

申込締め切り 各開催日の前日

※各回の Zoom の URL 等は申し込みされた方、支部のメーリングリストに登録された方にお送りいたします。

参加お申し込み

日本 ALS 協会長野県支部 事務局

TEL 026-263-6335 (担当 原山)

FAX 026-243-8820

E-Mail: [akane\\_harayama@tetote7107.org](mailto:akane_harayama@tetote7107.org)

募集期間 R8年5/20～6/20

定員 5名 \*受講の可否は後日連絡いたします。

長野県認可  
喀痰吸引等研修事業

令和8年度

## 第3号 喀痰吸引等研修（基本研修）

### 開催のお知らせ（第1回）

◆2012（平成24）年4月から「社会福祉士及び介護福祉士法」（1987年法律第30号）の一部改正により、介護福祉士及び一定の研修を受けた介護職員等は、医療や看護との連携による安全確保が図られていること等、一定の条件のもとで「たんの吸引等」の行為を実施できることになりました。

◆日本ALS協会長野県支部は長野県の患者団体として初めて令和4年に研修機関の認可を受けました。

◆当支部主催の本研修会は、主に難病患者や重度障害児者等に対して、安全かつ適切に喀痰吸引等を実施できる介護職員等を養成することを目的として、研修会を実施いたします。

#### 【研修日・会場】

(1日目) <講義> 2026年7月12日(日) 13:00～16:40  
長野市ふれあい福祉センター 5階 (長野市大字鶴賀緑町1714-5) またはZoom視聴

\*Zoom 配信ありますがWi-Fi環境が不安定、スマホだけでパソコンがない方は会場で受講してください。

(2日目) <演習・講義・試験> 2026年7月25日(土) 13:00～17:00  
北部スポーツ・レクリエーションパーク 管理棟 会議室 (長野市三才1981-1)

【受講料】 20,000円  
※別途教材費 2,000円 (送料込み) (「喀痰吸引等研修テキスト」厚生労働省版)

【カリキュラム】 別紙1 参照

#### 申込方法：

FAX または Eメール (ファイル添付) のいずれかの方法で受講申込書 (様式1) をお送りください。「日本ALS協会長野県支部 研修担当」宛  
<FAX: 026-243-8820> <E-mail: als.naganoken@gmail.com>

☆「受講申込書」は長野県支部ホームページよりダウンロード可

☆「実地研修」は、基本研修修了後に対象利用者宅にて指導看護師のもと実施

別表2 参照 ※別途実地研修費 3,000円

☆ 感染状況の拡大等、研修会開催が困難と判断した際は延期の場合もありますので、ご了承の上お申し込みください。

お問い合わせ

日本ALS協会長野県支部 (原山)

TEL 026-263-6335 FAX 026-243-8820

E-mail: als.naganoken@gmail.com

令和8年1月28日

日本 ALS 協会長野県支部  
支部長 小林 さゆり 様

長野県知事 阿部 守一

## ALS 等神経難病患者支援に関する要望書への回答書

**【要望1】 災害対策をより具体的に進めてください。**

### (1) 避難場所の確保

医療的ケアが必要な方が直接避難できる「指定福祉避難所」の整備はまだ非常に少ない上、避難可能な対象者を18歳未満と限定しているところもあり、神経難病患者の多くは利用できない状況にあります。「指定福祉避難所」の整備と対象者の年齢制限を撤廃してください。

### 【回答】

県としましても、医療的ケアが必要な方を含む要配慮者の避難先確保は重要な課題であると認識しております。福祉避難所の設置者である市町村に対し、要配慮者が迅速に福祉避難所に避難できるよう、障がい特性に応じた平時からの避難方法等の情報提供を市町村へ働きかけているところであり、引き続き市町村が先進的に取り組んでいる情報提供の事例を共有することにも努めてまいります。（健康福祉政策課）

### (2) 電源の確保

#### ① 「給電ステーション」の設置

人工呼吸器等の電源がなければ生きられない患者が避難する「指定福祉避難所」には当然電源の確保が必要ですが、停電だけの場合等、給電さえできれば、当面在宅避難が可能な患者もいます。

「指定福祉避難所」だけでなく、福祉避難所や保健所等にも医療用蓄電池の設置や EV 車両を派遣していただき、災害時や停電時に給電できる「給電ステーション」を整備してください。

### 【回答】

国の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」では、電源が欠かせない方が避難した場合の非常用電源の確保についても、あらかじめ調整しておくことが重要であるとされております。

県では、水素ステーションの整備及び燃料電池自動車を導入し、電力の蓄電目的としての活用可能性や災害時の電源供給の有効性等を検証しています。昨年10月に岡谷市を会場として実施した県総合防災訓練では、避難所開設・運営支援訓練において、関係機関と連携して、災害時の停電を想定し、燃料電池自動車を活用した電源供給訓練を実施しました。こうした訓練事例の横展開など、福祉避難所の運営主体である市町村への情報提供も積極的に行ってまいります。（健康福祉政策課）

## ② 発電機・蓄電池又は外部バッテリー等の日常生活用具給付事業の拡充

日常生活用具給付事業は市町村の裁量で財源の確保も難しいといった事情から、発電機、蓄電池、外部バッテリーが給付対象になっている市町村（長野市・佐久市）と、対象になっていない市町村（松本市他多数）と格差があります。また、給付対象者も18歳未満と限定しているところ（長野市等）があり、神経難病患者の多くは対象外となっています。地域間格差、年齢格差を是正し、全県で誰にでも公平な事業となるようにしてください。

### 会員が在住する市町村の状況

市町村	発電機・蓄電池等給付事業の有無	対象者	給付、貸与の対象品目
長野市	○	18歳未満の人工呼吸器等使用児童	発電機又は外部バッテリー給付（上限10万円）
佐久市	○	人工呼吸器等使用者	発電機又は外部バッテリー給付（充電器及びインバータも含む）（上限10万円）
須坂市	単独事業あり	人工呼吸器等使用者	ガスボンベ式発電機の貸与（ホンダ製）
松本市	×		
安曇野市	×		
大町市	×		
坂城町	×		
上田市	×		
軽井沢町	×		
下諏訪町	×		
岡谷市	×		
塩尻市	×		
富士見町	×		
飯田市	×		
下條村	×		

### 【回答】

日常生活用具の給付対象者や給付用具等は、事業の実施主体である市町村において判断しております。県は各市町村において事業が円滑に実施されるよう必要な情報提供等を行っているところです。

日常生活用具給付事業を含む市町村の地域生活支援事業の費用については、国が100分の50以内を、県が100分の25以内をそれぞれ補助することができるとされていますが、国予算が十分確保されておらず、市町村に超過負担が生じている状況となっています。市町村が円滑に事業実施できるよう引き続き国に対して十分な予算確保を要望してまいります。（障がい者支援課）

③ 電源が必要な全ての医療的ケア児・者の自宅などの療養場所に EV 車両による電源提供の事業化（県の包括連携協定の中で具体的に位置づけ事業化する）

支部では、県内 4 企業と協定を結び、EV 車貸与事業を始めました。（別紙参照）

ただ、貸与の対象者を支部会員に限定しており、地域によっては対応が難しい場合もあります。

そこで EV 車のシェアが高いトヨタグループに声をかけたところ、県の包括連携協定を通じてなら貸与可能とのことでした。そこで、県の包括連携協定の「避難所等への PHV 車両派遣による電源提供」を、「避難所に加え、年齢関係なく電源が必要な全ての医療的ケア児・者の自宅などの療養場所への PHV 車両派遣による電源提供」と明記し、県の主導で事業を進めていただきたい。

県担当課「企画振興部広報共創推進課」

【回答】

当県とトヨタグループの包括連携協定では、連携事項を「防災・減災に関すること」としており、事業の詳細は別途、協議しながら取り組んでおり（現状では、協定の連携項目として「避難所等への PHV 車両派遣による電源提供」とは定めておりません。）、県においても、現在トヨタグループとの「防災・減災に関すること」の具体化を図っているところです。

貴協会を含む県内団体が、災害発生時において企業等とも必要な連携が円滑に図られるよう、具体的な運用方法を定めておくことは重要だと認識しておりますので、どのような対応・連携が可能か、検討・協議してまいります。（健康福祉政策課）

④ 「在宅人工呼吸器使用者非常用電源整備事業」の周知と事業内容の拡充

この事業は訪問診療が必要な人工呼吸器使用患者を対象に、停電時に備えて患者に診療している医療機関が無償で簡易自家発電装置等を貸し出すという事業となっています。

R5年度の要望書の回答では、この事業を活用して整備された数は8台にとどまっておりましたが、その後の周知や整備状況はどうなっているかご教示ください。

また、簡易自家発電装置等とは、ガソリン・ガス等で駆動される自家発電装置、人工呼吸器の予備バッテリーとなっておりますが、自家発電装置は維持管理が難しく、扱いにくい点もあるため、他の医療機器（加温加湿器や吸引機等）や福祉機器（電動ベットやエアマット等）にも使えて取り扱いが容易なポータブル蓄電池等も対象に拡充していただきたい。

【回答】

「在宅人工呼吸器使用者非常用電源整備事業」については、事業を開始した令和元年度から令和7年度までに、のべ5医療機関が本事業を活用し、非常用電源8台が整備されています。

毎年、県内の医療機関あてに本事業の実施意向調査を行っているものの、令和5年度以降、新たな活用実績がないため、より多くの医療機関に本事業を活用いただけるよう、引き続き周知に努めてまいります。

また、ポータブル蓄電池について厚生労働省に確認したところ、ポータブル蓄電池も予備バッテリーと同様の機能を発揮すると思料されることから対象となる、と回答がありました。ぜひこのことも踏まえ本事業を活用いただければと思います。

このほか、中部電力パワーグリッド株式会社では県と連携し、在宅医療機器使用者の同意のもと、災害時等の停電情報・復旧情報の提供、停電の長期化が見込まれる場合のかかりつけ医や親族宅への避難

の推奨のほか、可能な範囲での電力の優先供給やポータブル発電機の貸出を実施していますので、是非こちらもご活用ください

引き続き、関係者と協働し災害に備えた体制の構築に努めてまいります。(医療政策課)

**【要望 2】 「障がいのある人の権利擁護と共生社会の実現」、「自ら選んだ場所で「安心」して暮らせる環境づくり」の推進、具体的な支援の周知と拡充をお願いしたい。**

**(1) 支援の周知について**

昨年度の要望において地域移行支援の周知についてお願いした際には、「障がいのある方の自立支援のしおり」の発行や、ホームページ等の各種媒体を活用した情報発信に努めていくとのご回答をいただきました。引き続き、地域移行に関する報酬や加算についても、関係機関への周知を進めていただきたいと思います。

**【回答】**

障害福祉サービスにおける地域移行に関する報酬や加算については、毎年実施している指定障害福祉サービス事業者等を対象とした集団指導において説明を実施しており、その資料はホームページに掲載して周知を図っています。

また、各地域の障がい者基幹相談支援センター、地域自立支援協議会事務局、市町村職員等を対象に開催している「障がい者相談支援体制等機能強化会議」において、地域移行に関する制度も含めた情報を共有し、地域の実情に合わせた活用方法を検討してもらう場としているところです。

引き続きホームページや会議等を通じて、周知を図ってまいります。(障がい者支援課)

**(2) 支援の拡充について**

① 人材育成のひとつである3号研修を、患者の命を支える事業として、またスムーズに地域で暮らせるよう迅速かつ適切な研修事業となるよう配慮していただきたい。

ALSだけでなく医療的ケアが必要な患者が地域で暮らすためには、ヘルパーによる医療的ケアが欠かせません。医療的ケアが必要になった時、あるいは病院から退院、施設から退所して地域で暮らすことを目指す際に、即座にヘルパーに対し研修が必要となりますが、手続きの煩雑さ、研修費用の負担、指導看護師の確保に時間を要する等により、地域で暮らすことに大きなハードルが生じています。特に以下の2点の改善をお願いしたい。

**◎研修手続きの簡素化**

県への提出は①②の2点だけにできないか。

\*③④⑥⑫は支部で確認した上で修了証を発行している

\*④は指導看護師の手続きで「実地研修施設承諾書」として提出しているものを確認すれば良い

\*⑤は研修前に提出済み

<3号研修修了後に県へ提出する書類>

	神奈川県	鹿児島県	長野県
① 報告書(別紙3)	○	○	○
② 修了者管理簿(別紙2-2)	○	○	○
③ 修了テストの試験問題と解答(1部)	×	×	○
④ 実地研修施設一覧	×	×	○
⑤ カリキュラム	×	×	○
⑥ 受講生全員の回答用紙(添削済みのもの)	×	×	○
⑦ 受講申込書	×	○	×
⑧ 実地研修準備チェック表	×	×	×
⑨ 医師指示書	×	○	×
⑩ 利用者同意書	×	○	×
⑪ 実地研修記録用紙	×	×	×
⑫ 評価票(対象の行為全て9種類の評価票あり)	×	×	○

◎指導看護師登録手続きの簡素化

厚労省からの回答では看護師の研修は必須要件となっていないため、他県同様自己研修なしとして頂き、提出は①講師履歴書、②実地研修施設承諾書、③看護師免許の写しの3点だけにできないか。

<日本ALS協会本部から厚労省への要望>

痰の吸引等の研修制度における指導看護師の資格について、都道府県でばらばらになっている。

<厚労省からの回答>

指導看護師は講習を受けないといけないか、というご質問だが、その点は全国課長会議で示している。医師、看護師は国家資格があるため、必ずしも養成研修を受けなければいけないという必須の要件にはしていない。そのうえで各都道府県の考えとして上乗せ要件があるのではないか。国は一定程度枠組みを決めて運用は都道府県で行う部分があるため、ここは都道府県と個別に相談すべき(障害福祉課) JALSA20号

<登録研修機関の指導看護師になるための手続き>

	神奈川県	鹿児島県	長野県
① 「喀痰吸引等指導者マニュアル第3号研修」及びDVD(別紙YouTube動画視聴6時間)に基づき自己学習	×	×	○
② 指導者養成事業報告書(アンケート)を県へ提出	×	×	○

③県から「介護職員等による喀痰吸引等研修の研修指導者養成事業報告書 受理書」の交付	×	×	○
指導看護師が上記①～③の手続きをして研修機関へ下記①～④を提出。研修機関が県へ提出する書類			
	神奈川県	鹿児島県	長野県
①講師履歴書	×	×	○
②実地研修施設承諾書	×	×	○
③看護師免許の写し	×	×	○
④「介護職員等による喀痰吸引等研修の研修指導者養成事業報告書 受理書」の写し	×	×	○

### 【回答】

喀痰吸引等（第3号研修）登録研修機関は、令和7年 11 月末時点で 17 機関が登録されており、各登録研修機関の一定の裁量の下、研修を実施していただいています。

長野県においては適正・確実な研修企画・実施を確認するため、第1号・第2号、第3号全ての登録研修機関に「研修実施計画書」及び「研修実施結果報告書」等の必要書類の提出を求めているところです。

「実施結果報告書」の様式については、「長野県喀痰吸引等研修実施要綱」に定めております。研修実施に係ることについては、「喀痰吸引等研修実施体制懇談会」に諮った上で、要綱改訂等を行っていますが、現時点では添付書類の簡素化を求める声は挙がっていない状況です。

長野県では、指導看護師の要件として、指導看護師の質の担保のため、厚労省通知「平成 23 年度介護職員等による痰の吸引等の実施のための研修事業（特定の者対象）の実施について」（平成 23 年 11 月 11 日付け障発 1111 第2号）に基づき、指導者マニュアル及び DVD（動画）による自己学習修了を要件としています。

単に手技を指導するだけでなく、看護師が実施可能な行為＝介護職員等が実施できる行為ではないこと、看護職と介護職員との役割分担や連携など、適切に制度を理解していただいた上で指導にあたっていただくことが必要と考えています。

研修手続きの簡素化については、他の登録研修機関の意見も踏まえつつ、報告書の添付資料の変更等について、喀痰吸引等研修実施体制懇談会等で検討してまいります。

指導看護師登録手続きについては、指導看護師の質の担保及び安全な行為の実施のため、継続していく方向です。  
(障がい者支援課)

### ② 重度訪問介護の支給決定の地域間格差をなくし、公平公正を担保してください。

重度訪問介護についてまだその制度を良く理解していない地域（担当者）があります。

他のサービス（訪問看護や訪問入浴）と併用できないと解釈している担当者がおり、支給が認められなかった事例がありました。コミュニケーションが特殊で重度訪問介護のヘルパーでなければ対応できない場合には、他のサービス利用中でも併用が認められています。

また、申請する相談支援専門員やケアマネジャーの経験、知識、力量により申請が認められたり、支給量に差が生じたりしています。患者の状況に変わりがないのに、市町村によって、また関わる担当者によって、さらには提供事業所の有無によって重度訪問介護の支給決定に格差が生じるのは、その人

らしい暮らしが、暮らしたい場所でできなくなり、患者の不利益に繋がります。

昨年からの回答に「サービス提供が可能な事業所の有無など各地域の様々な実情に応じて判断されている」とありましたが、たとえその地域に提供事業所がなくても、例えば「NPO法人広域協会」のように東京都の指定事業所が患者の住む地域のヘルパーを雇い派遣するという形で支給決定されている事例もあり、そうした事業所を活用すれば長野県内どこでも支給決定が可能なはずで、事業所がない離島や中山間地域等はまさにそうしてヘルパーを確保しております。

全国、県内どこでもこの制度を利用して生活していくことが可能であるということをご理解、周知いただきたい。

#### 【回答】

重度訪問介護と訪問看護等の他のサービスの併用等、制度の理解が不十分である地域があるとのこと指摘を踏まえ、年度当初に実施している市町村担当職員を対象とした研修や、全事業者を対象とする集団指導の場を活用し、正しい理解の普及に努めてまいります。

また、市町村に対して事業所の有無によって支給決定に支障が生じないよう適切な助言を行ってまいります。

なお、指定障害福祉サービスでは、障がいの特性を正しく把握するためのモニタリングや支援会議の開催を通じて個別支援計画を作成することが必要となり、これらの業務は、事業所に1人以上、常勤専任で配置するサービス提供(管理)責任者が担うこととされています。

サービス提供範囲が広域に及ぶ場合、これらの業務が、全ての利用者に対し適切に提供できるかが課題となると思われますので、事業所から相談があった際は、特にこの点について正しく理解いただくよう努めてまいります。  
(障がい者支援課)

#### ③ 地域移行の対象に重度の身体障害者を含めた施策が必要であることをご理解いただきたい。

「地域移行」を実現するためには、サービス利用や宿泊等の体験が必要となりますが、現状では宿泊施設のバリアフリ化が必須条件とされていないため、重度の身体障害者が利用できない場合があります。つきましては、宿泊施設のバリアフリ化を推進するとともに、重度の身体障害者が安心して利用できる制度運用を検討していただきますようお願いいたします。

#### 【回答】

「長野県障がい者プラン 2024」に包含している「第7期障害福祉計画」において設定した「入所施設から地域生活への移行者数」の目標値(R8年度末:167人(R5~8の累計))の達成に向けて、必要な施策を進めてまいります。  
(障がい者支援課)

#### 【要望 3】 呼吸リハビリ研修の促進を図るため、引き続き県の協力をお願いしたい。

##### ① 呼吸リハビリを行う専門職の人材育成の観点から、定期的に研修会を開催するため、県の協力を引き続きお願いします。

2023年に改訂された「筋萎縮性側索硬化症(ALS)診療ガイドライン」の中では、LIC トレーナーの使用が機能維持療法として有用であることが掲載され、ALS に対する呼吸リハビリのエビデンスは

徐々に高まっております。

当支部での継続的な研修実施により専門職は着実に増加しているものの、依然として県内のすべてのALS患者のニーズに応えるには十分な数とは言えず、適切なタイミングで適切な治療を受けるためには、今後も人材育成を目的とした定期的な研修会の開催が不可欠だと考えます。

引き続き県の助成をお願いいたします。

#### 【回答】

県が主催する研修では、広く地域の支援者に対して、知識の習得を目指す研修を中心に開催しております。一方、専門性が高いために対象者が限定的な呼吸リハビリテーションのような専門的な知識や技能の習得を目指す研修会の開催は対応していない状況です。

県としては、患者会を始めとした各団体による難病患者等を支援する人材の育成に係る専門的な研修会の開催を支援するため、今年度より長野県地域医療介護総合確保基金事業(医療分野)として、在宅難病患者支援者育成事業を新設し、研修会開催費用への補助を行っています。

引き続き、各団体がそれぞれのニーズに応じた専門的な研修会が開催できるよう支援を継続してまいります。貴会をはじめ関係団体の皆様には当該事業の積極的な活用をお願いします。

(疾病・感染症対策課)

#### ② 呼吸リハビリ機器である排痰補助装置のレンタル費用の助成と、LICトレーナー購入費用の助成を検討してください。

排痰補助装置は、在宅人工呼吸器装着者は医療保険が適用されますが、入院中の患者や呼吸器未装着者は保険適用とならず自費となってしまいます。LICトレーナーも自費購入となっていますが、1台46,500円し、その他の必要物品を含むと60,000円以上と高価であるため、個人購入は負担が大きい状況です。

早期からの適切な呼吸リハビリは人工呼吸器装着までの期間を延長し、生命予後やQOLの改善に有効な手段と位置付けられていますが、制度や価格の影響もあり、患者のニーズはあっても提供できない現状にあります。

これまで当支部では呼吸リハビリ研修会を継続的に実施してきたことで、県内にも呼吸リハビリを実施できる支援者が増え、標準的なケアのひとつになりつつあります。呼吸リハビリを必要とする患者に必要なタイミングで提供できるよう、使用に関する費用の助成をお願いいたします(先行事例として、滋賀県大津市では「在宅療養等支援用具」として排痰補助装置のレンタル費用助成を行っています)。

#### 【回答】

【要望1】同様、排痰補助装置及びLICトレーナーに関しましては、障がいのある方が日常生活を送るために必要不可欠なものであると認識しておりますので、市町村において事業が円滑に実施されるよう、必要な情報提供等を行ってまいります。

市町村の地域生活支援事業は、経費を国1/2、県1/4、市町村1/4を負担することとされていますが、国予算が十分確保されておらず、市町村に超過負担が生じている状況となっており、市町村が円滑に事業実施できるよう引き続き国に対して十分な予算確保を要望してまいります。(障がい者支援課)

## R8年2月7日(土)おしゃべり広場(飯田病院&Zoom ハイブリット開催)報告



参加者総勢 48名

現地参加 27名(当事者4名 家族5名 支援者15名 講師3名)

Zoom参加 21名(当事者13名 家族1名 支援者7名)

初めての南信開催でしたが、翌日の呼吸リハビリテーション研修会で講師をお願いしていた国立精神・神経医療研究センターの寄本先生、有明先生にもご参加いただき、呼吸リハビリのお話を中心に盛り上がりました。

実際に呼吸リハビリに取り組んでいる当事者からは先生に直接質問できたことで、日頃の疑問を解消し呼吸リハビリの質の向上に繋がる機会になったのではと思います。また、初めて呼吸リハビリに取り組む当事者にとっても、呼吸リハビリの有効性や方法を知ることができたり、既に取り組んでいる当事者の話も聞いて参考にすることができたと思います。

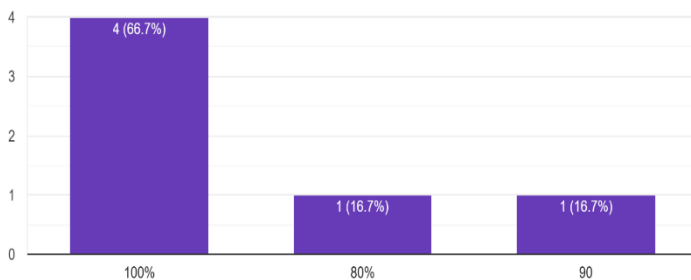
お忙しい中ご参加いただきました飯田病院の神経内科医大原先生、会場手配にご協力いただきましたリハビリテーション科長林様にも感謝申し上げます。



### <アンケートの回答>

8 参加しての満足度はいかほどですか? 0%~100%でご記入ください。

6件の回答



### 参加しての満足度について理由をお聞かせください。

- : 呼吸リハビリが主な話題で有意義な情報交換がなされていたと思います。
- : 療養者様と意見交換できたこと
- : 現実と向き合う気持ちの整理ができたこと、患者本人の気持ち至少在り前向きになれたこと
- : 患者の方の直接的意見を聞いたり、講師の方や支援している方々の雰囲気を知る事ができた。
- : ALS患者について必要な支援や知識を学ぶことができた

### 参加して日々の療養または支援に生かせそうと回答された理由をお聞かせください。

- : 呼吸トレーニングなど多くのことを学べたため
- : 侵襲性の呼吸器を着ける前にできることを知ることができた
- : 施設にいるALSの利用者への会話のきっかけや、相談の切り返しなどで活かしていきたい。
- : 紹介するのに説得力がある
- : 人工呼吸器の設定内容やリハビリ内容等、ご家族や他の支援者に対して気になることがあった際に意見できそうのため。

### 今後のおしゃべり広場で取り上げてほしいテーマや支部に期待すること等をお聞かせください。

- : 療養者様の生の声をもっと聞くことができる機会を作って頂ければと思います。今回も本当に貴重な時間でした。ありがとうございました。
- : 重度訪問介護の具体的な内容
- : 皆様がどのような制度(重度訪問介護・訪問看護・訪問介護等)を利用して、どのようなタイムスケジュールで支援に入っているのか。また、重度訪問介護の長時間をどのように行政から了承を得たのか知りたいです。私がある飯田下伊那地域は重度訪問介護の支給実績がなく、行政等関係者の理解が進んでいないと感じるため、ご教示をいただきたいです

## 日本 ALS 協会長野県支部主催「呼吸リハビリ研修会」開催報告書

令和 8 年 2 月 8 日（日）、飯田市立病院において「ALS に対する呼吸リハビリ研修会」を開催いたしました。講師には国立精神・神経医療研究センターの寄本恵輔先生、有明陽佑先生をお招きし、ALS の呼吸障害に対する最新の知見と技術を学びました。

本研修会は、支援に携わる専門職が適切な呼吸ケアを習得することを目的に企画しました。午前中は、呼吸障害のメカニズムや肺容量を維持するための LVRT（肺容量リクルートメント療法）について講義いただき、午後は「LIC TRAINER」や「排痰補助装置（MI-E）」の実技研修を実施しました。

当日は雪の影響もありましたが、専門職を中心に当事者・ご家族を含む計 41 名（理学療法士 17 名、作業療法士 5 名、言語聴覚士 1 名、看護師 4 名、保健師 3 名、介護福祉士 1 名、ヘルパー 2 名、ケアマネジャー 1 名、当事者 2 名、家族 3 名、その他 2 名）が集まり、熱気あふれる研修となりました。

支部では、今後も県内の療養支援の質を向上させ、誰もが安心して過ごせる環境づくりのため、継続的な研修開催に取り組んで参ります。



### 【参加者アンケートより：会場の声】

- 「最新の知見を学べただけでなく、実際に機器を体験したことで、当事者の方が抱える息苦しさや、介助時の注意点を肌で感じることができ、非常に充実した研修でした。」
- 「当事者やご家族の生の声を聴きながらの研修は、専門職だけの場では味わえない温かみがあり、より一層ご本人の気持ちに寄り添った支援をしたいという意欲が高まりました。」
- 「LIC トレーナー等の具体的な活用法や導入までの流れを知ることができ、大変勉強になりました。職場に戻り、まずはステーション内でもこの学びを共有したいと思います。」
- 「専門的な内容に難しさを感じる場面もありましたが、意思伝達ツールや制度のことなど、もっと知りたいことが増えました。今後も継続してこうした研修会を開催してほしいです。」
- 「現在はまだ担当に ALS の方はいませんが、今後必要になった際に適切なケアができるよう、今回学んだ知識を大切に蓄え、臨床現場で活かしていきたいと考えています。」

皆さんに伝えたい

# わが家のりゅうぎ

Vol.3

長野市 塚田洋子さん



こんにちは、私はALSになって15年になります。16年目に入りました。家族やヘルパーさんたちのおかげです。私も頑張ってきましたが、もうあんまり頑張らず、好きなドラマを見て過ごそうかなって思います。今回は私が呼び鈴操作で使っているピエゾセンサーについて、ヘルパーさんよりご紹介させていただきます。

塚田家では呼び鈴を鳴らす際、写真のピエゾニューマティックセンサー（PPSスイッチ）のピエゾセンサーを額に貼り、しわを寄せることでセンサーがゆがみを検知し、呼び鈴の操作をおこなっています。私たちがこれまでの積み重ねで見つけた「洋子さん流」の貼り方や、安定して鳴らすための工夫をまとめました。



## 肌に優しい医療用テープと剥がし方のコツ

一日に何度もピエゾセンサーを貼ったり剥がしたりするため、肌への負担が少なく、長時間でもムレにくい通気性の良い医療用テープを選んでいきます。さらに、テープの端を少し折り曲げて持ち手を作っておくことで、肌を傷つけずにスムーズに剥がせるようにしています。



## 養生テープでピエゾセンサーを保護

洋子さんは、身体介護のため一日に6～7回リビングと寝室を移動します。移動のたびピエゾセンサーの着脱を繰り返すので医療用テープの粘着が弱まり交換が必要になります。この交換時ピエゾセンサー側にべとべとした糊が付着するのが、ずっと悩みの種でした。そこで取り入れたのが養生テープを下貼りする方法です。

### • ピエゾセンサーの糊残り防止

ピエゾセンサーの形に合わせて切り取った養生テープを、あらかじめ貼っておくことで、医療用テープの糊がピエゾセンサーに付着するのを防げるようになりました。以前は糊が付着するたびに拭き取る必要がありましたが、その手間が完全なくなりました。

### • 故障リスクを低減

糊を拭き取る作業や医療用テープの剥がしにくさはピエゾセンサーに負荷がかかり故障のリスクが高くなります。無理なお手入れが不要になったことで、ピエゾセンサーをより長く大切に使えるようになりました。



## 汗や皮脂対策で感度キープ

ピエゾセンサーは汗や皮脂が付着すると性能(感度)が低下する可能性があるため、装着する前は肌を軽く拭いています。特に化粧水をつけた後や入浴後は肌が湿りやすいため、少し時間をおくか、ティッシュで軽く押さえてから装着することで、ピエゾセンサー本来の性能を長く維持できます。

## ベストな貼り方・位置・設定

当初は、顔の中で動きの大きい「左眉山」の近く（写真①）に貼っていましたが、顔を左に向けた際に、感度（数値）を上げなければ反応しないことがありました。

そこで貼り方を見直しました。取扱説明書によると「テープはピエゾセンサー全体を大きく覆うように貼ると反応が良くなる（写真②）」とありましたが、洋子さんの場合はピエゾセンサーの頭やコードの付け根をテープで固定せず、わずかな遊び（ゆとり）を持たせる貼り方の方が、小さな動きを敏感に捉えて反応が良くなりました。他にもテープの幅を半分にして2点留めにしたり（写真③）、貼る位置を微調整したりと試行錯誤を重ねた結果、現在は写真④のような貼り方で「左眉頭」の近くに貼っています。



さらに、コントロールボックスの反応動作切替を「1：押す」ではなく「2：離す（力を抜く動き）」に設定したところ、わずかな表情の変化や、皮膚が戻る際のごく小さな動きでもスムーズに反応するようになりました。この位置と設定なら、左右どちらを向いても安定して反応するので安心です。

これらの工夫は日々の生活の中で見つけた小さなアイデアですが、皆さんの毎日をより良くするヒントや新たな解決策を見つけるきっかけになれば嬉しいです。

## 担当療法士より

洋子さんはその時々での体の動きに合わせて、手や足の指、表情筋など様々な場所からスイッチを操作することに柔軟に対応され、現在の方法にたどり着かれています。

塚田家で活用されているPPSスイッチを上手に使うことで、ごくわずかな動きでも呼び鈴や意思伝達装置等でのスイッチ操作が可能になりますので、お困りの方は、ぜひ療法士さんにご相談ください。



日本ALS協会長野県支部では「わが家のりゅうぎ」で紹介させていただく方を募集しています。ご協力いただける方は事務局（akane-harayama@tetote7107.org）までご連絡ください

# 機器の貸し出しについて

県の難病相談支援センターでも「在宅難病患者等療養生活用機器貸出事業」として機器類の貸し出しがありますが、長野県支部でも寄贈いただきました貴重な機器を有効活用させていただきます。

\*貸出対象者・・・**会員**（会員でない方は入会頂ければと存じますがご相談ください）

\*貸出期間・・・**2か月以内**（延長を希望される場合はご相談ください）





\*貸し出し費用・・・**無料**（ただし、**機器貸出時・返却時の送料はご負担**いただきます）

\*レビューを記入いただく場合があります。

\*貸し出し申し込み先・返却先・・・長野県支部事務局（原山）026-263-6335

## 長野県支部貸出機器一覧

種類	機器名	イメージ	機器の概要	貸し出し内容
スイッチ類	ピエゾニューマチックセンサー スイッチ (パシフィックサプライ社製)		空気圧、歪みセンサーを利用し操作するスイッチ。持続出力（長押し）が必要な操作には不向きです。 操作部位：額、頬、指等	コントロールボックス（2） ピエゾセンサー（4） ディップスポンジセンサー（1） ACアダプタ
	指サックを使った PPSエアバック (OT太田さん手製)		上記既製のピエゾセンサーやスポンジセンサーではうまくスイッチ操作ができない方向けの手製スイッチ	指サックのエアバック・風船・作り方付き
コール類	パーソナルコールⅡ・ 呼び鈴セット (テクノスジャパン社製)		1つのスイッチで、意思伝達装置と呼び鈴を使い分けられることができる装置。（呼び鈴分岐装置）	パーソナルコール本体（2） ケーブル2種 ACアダプタ 電源ケーブル（2）
			パーソナルコールと接続し、病院/施設等でナースコール設備への報知が可能になる	ワイヤレスチャイム用受信器（1） ワイヤレスチャイム用送信器（1）
	ワイヤレス呼び出しチャイム (リーベックス社製2種) (手製押しボタンつき)		押しボタンを押すと離れた場所へ音と光で知らせる	ワイヤレスチャイム用受信器（2） ワイヤレスチャイム用送信器（2） 手製押しボタン（1）
カフ圧チェッカー	カフ圧調整器 (アナログ式) トクソー技研製		・カフ圧値を表示し、ジョグポンプで空気を充填・排出します ・カフ圧値をモニターして適切に管理 ・ジョグポンプ内蔵で設定が容易 ・異常開放弁で機器を保護	カフ圧調整器（1）
吸引器	ミニックW-Ⅱ 高吸引圧/高流量 (新鋭工業株式会社)		喀痰吸引用 質量：約5.4kg 最大吸引圧力：-85kPa 排気流量：30L/min 吸引瓶容量：1400mL 消費電力：90VA	本体のみ（1） *吸引カテーテルは付いていないので、ご準備ください。 *ホースは衛生上購入をお願いいたします。
	ミニックDC-2 3電源対応（AC電源・バッテリー・シガーソケット） (新鋭工業株式会社)		喀痰吸引用 質量：約4.1kg 最大吸引圧力：-80kPa 排気流量：30L/min 吸引瓶容量：1400mL 消費電力：115VA	本体のみ（2） *吸引カテーテルは付いていないので、ご準備ください。 *ホースは衛生上購入をお願いいたします。

ポータブル蓄電池	Anker PowerHouse II 800			本体 (1) AC電源・シガーソケット・USB																																																							
バッテリー	(旧型) 人工呼吸器 Torilogy 着脱式バッテリー			充電器とセットで貸し出し バッテリー100% (フル充電) で3時間																																																							
	(新型) 人工呼吸器 Torilogy Evo 着脱式バッテリー フィリップス			バッテリー100% (フル充電) で7時間半																																																							
呼吸リハビリ機器	LICトレーナー		この機器を使用し 神経難病患者さんの肺に 適切な陽圧をかける事で、 肺の柔軟性を維持・改善 人工呼吸器を使っている方も 人工呼吸器を使っていない方にも 実践できる優しい呼吸ケア	LICトレーナー・マンメーター・ 直接コネクター・蘇生バック																																																							
文字盤	ICT救助隊 はじめての文字盤DVDつき	以下の文字盤とセットでお貸しし、色々試せるようにします。																																																									
	透明文字盤 50音式	<table border="1" data-bbox="747 1353 1125 1626"> <tr><td>あ</td><td>か</td><td>さ</td><td>た</td><td>な</td><td>は</td><td>ま</td><td>や</td><td>ら</td><td>わ</td><td>(つ)</td></tr> <tr><td>い</td><td>き</td><td>し</td><td>ち</td><td>に</td><td>ひ</td><td>み</td><td>ゆ</td><td>り</td><td>を</td><td>ー</td></tr> <tr><td>う</td><td>く</td><td>す</td><td>つ</td><td>ぬ</td><td>ふ</td><td>む</td><td>よ</td><td>る</td><td>ん</td><td>?</td></tr> <tr><td>え</td><td>け</td><td>せ</td><td>て</td><td>ね</td><td>へ</td><td>め</td><td>°</td><td>れ</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>お</td><td>こ</td><td>そ</td><td>と</td><td>の</td><td>ほ</td><td>も</td><td>°</td><td>ろ</td><td>×</td><td></td></tr> </table>	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	(つ)	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ー	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	?	え	け	せ	て	ね	へ	め	°	れ	○		お	こ	そ	と	の	ほ	も	°	ろ	×		一般的な50音配列 文字上に目線を安定させる固視 点付きもあり	2種類
	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	(つ)																																																
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ー																																																	
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	?																																																	
え	け	せ	て	ね	へ	め	°	れ	○																																																		
お	こ	そ	と	の	ほ	も	°	ろ	×																																																		
透明文字盤 フリック式		①同一文字サイズ ②ブロック中心の文字を大きく したもの ③ブロックの中心の文字を大き くして固視点をつけて選びやす くしたもの	3種類																																																								
文字盤	指差し文字盤 段差や穴のある文字盤		平面的な文字盤が指しづらい場 合に使う	1つ																																																							
意思伝達装置	レッツチャットと支持アーム		●いつでもどこでも簡単に会話が楽しめます。 ●テレビを操作できるリモコン機能を内蔵。 ●乾電池だけでも使用できるため外出にも最適。 ●市販のプリンタを接続することで印刷できます。	・本体 ・AC電源アダプター ・替え文字板 3種類 (本体付属品と併せて全4種類)																																																							
			テーブルなどの台にはさむか、 直径1.9~7.5cmのパイプにつけて、 レッツチャットを固定する	レッツチャットとセットで貸し出し																																																							

## 支部の動き

(令和8年1月～3月)

1月10日(土)	飯田病院Kさん受診立ち会い・Hさん宅訪問(原山)
1月12日(祝)	支部だよりNo.43発送
1月16日(金)	メディホス茅野面談(原山)
1月31日(土)	役員会⑧ Zoom
2月2日(月)	Kさん相談面接(原山)
2月4日(水)	下條村へKさんの重度訪問介護についての要望書提出(原山)
2月7日(土)	おしゃべり広場⑤ 参加者48名(現地・飯田病院27名 Zoom21名)
2月8日(日)	呼吸リハビリテーション研修会(飯田市立病院 講義室A B) 参加者総勢55名(受講者41名+後援機関4名+協賛企業2名+役員8名)
2月11日(祝)	Sさん宅訪問(中野市)(原山)
2月20日(金)	北陸甲信越ブロック会議(原山)
2月21日(土)	Sさん宅訪問(中野市)(太田・原山)
2月27日(金)	Kさん宅訪問(原山)
3月8日(土)	Sさん宅訪問(中野市)(太田・原山)
3月14日(土)	Sさん宅訪問(中野市)(太田)
3月15日(土)	役員会⑨ Zoom
3月20日(祝)	Oさん宅訪問(南箕輪村)(原山)

## 会員用LINEオープンチャットのお知らせ

### 会員限定のLINEオープンチャット※

参加するには 支部事務局の認証が必要となります。  
事務局までご連絡ください。



※LINEオープンチャットとは、LINEの「友だち」登録なしで、共通の趣味や興味関心を持つ人々と匿名で交流できるグループチャット機能です。

### ◆ご利用にあたってのお願い

- ：本オープンチャットは、会員間の情報交換や交流を目的としています。
- ：必ず実名でご参加ください。ニックネームでの登録はご遠慮ください。
- ：他の会員への敬意をもち、節度あるやり取りをお願いいたします。
- ：個人情報や機密性の高い内容については、取り扱いに十分ご注意ください。

会員の皆さまのつながりを深め、支え合える場となれば幸いです。

ご不明な点がございましたら、支部事務局までお問い合わせください。

作業療法士

## 中川真人副支部長の福祉用具相談窓口

私は鹿教湯病院で ALS の患者さんを担当し支援しています。  
生活の中でお困りごとがあれば気軽にご相談ください。  
ご相談の内容によってはご満足いく回答ができないことがあります。  
ご了承ください。



対象者 : 長野県支部の患者さんやご家族, その関係者の方。  
得意分野 : スマートフォンやパソコン等のコミュニケーション機器,  
リフト等の福祉用具,  
スマートスピーカーやスマートリモコン等の IOT 家電。

連絡先 : [als.nagano.ot@gmail.com](mailto:als.nagano.ot@gmail.com)

※右上の QR コードから読み取り可能

長野県支部連絡先 \*ホームページのお問い合わせフォームあります。

<https://als-nagano.jp/>

事務局 原山 TEL 026-263-6335 (居宅介護支援事業所 手と手)  
FAX 026-243-8820  
長野県支部 E-mail : [als.naganoken@gmail.com](mailto:als.naganoken@gmail.com)  
事務局直通 E-mail: [akane\\_harayama@tetote7107.org](mailto:akane_harayama@tetote7107.org)



※長野県難病相談支援センター 難病相談支援員 両角由里氏  
松本市旭 2-11-30 TEL 0263-34-6587 Fax 0263-34-6589  
E-mail : [nanbyo@shinshu-u.ac.jp](mailto:nanbyo@shinshu-u.ac.jp)  
両角由里氏には顧問をお願いしております。お困りごとやご相談などありましたらご連絡ください

協会本部の新サイト、会員になると詳細に見ることができます☆

\*\*\*\*\*

ALS 療養情報をいつでも・どこでも

新サイト「ALS 療養の知恵袋」<https://chie.alsjapan.org/>

\*\*\*\*\*

★入会手続きは、入会申込書（事務局へ連絡）または協会ホームページ  
からWEB申し込み可能 <https://alsjapan.org>

## 医療・介護・福祉を融合した、神経難病に特化したケアを提供します。

パーキンソン病、ALSなど、医療的ケアが必要な方の中には、住み慣れた地域で安心して暮らしたいと願いながらも、その想いを実現できずにいる方が少なくありません。社会福祉法人アムールでは、「医療・介護・福祉」を融合した包括的なケアを提供し、神経難病に特化した有料老人ホームを運営しています。

施設には理学療法士・作業療法士などのリハビリ専門職が常駐し、身体機能の維持・向上を目指した個別リハビリを行っています。

また、24時間365日、看護職員と介護職員が常に連携し、呼吸管理や経管栄養など医療依存度の高い方にも対応可能な体制を整えています。地域の医療機関やケアマネジャーとも密に連携し、安心・安全な療養生活をサポートします。

「困っている人を助けたい。」

アムールは、医療的ケアが必要な方が地域で自分らしい暮らしを続けられる環境を提供いたします。

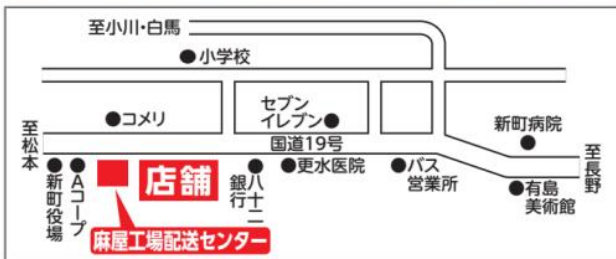


「医療と介護と福祉」でおなたと家族を支えたい

**アムールグループ**

## アムール長野相談支援センター

〒380-0928 長野市若里2丁目10-6 TEL.070-6480-2189



## あさや 麻屋の介護保険サービス

1. 福祉用具のレンタル  
(ベッド・車イスなど13種目)
2. 福祉用具の販売  
(ポータブルトイレ・シャワー椅子など5種目)
3. 住宅改修  
(手すりの取付・床材の変更・洋式便器への取替など)

### 当社サービス実施区域

長野市・千曲市・須坂市・小布施町・小川村・大町市・小谷村・白馬村・生坂村・安曇野市・池田町・松川村・松本市 その他

介護保険 福祉用具レンタル指定事業所

事業所番号 2073400174

事業所名 **(株)麻屋家具製作所**

〒381-2405 長野市信州新町 新町698

TEL 026-262-2073 FAX 026-262-4894

お申し込み・お問い合わせ 御注文は **026-262-2073**

長野事務所 長野市稲里町中央

## 大北営業所

〒399-8501

北安曇郡松川村7027

TEL 0261-62-4321

FAX 0261-62-0671

お申し込み・お問い合わせ 御注文は

**0261-62-4321**



## すべては、安全・安心の医療のために・・・

- 医療関連機器・喀痰吸引器機等の販売・メンテナンス
- 住環境、事務所環境（冷暖房設備）及び防災対策（BCP）商材販売
- 各種ガス供給（産業、LPG、医療用）
- 各種ガス設備工事 設計・施工
- 各種ガスの保安活動
- ※高度管理医療機器等販売・貸与業／医療機器修理業許可取得業者

**S 岡谷酸素株式会社** <http://www.okayasanso.co.jp>

本社/〒394-8585 長野県岡谷市幸町6-6 TEL: 0266-22-5531

松本/〒399-0004 長野県松本市市場6-20 TEL: 0263-27-3091

長野/〒381-8560 長野県長野市中越1-1-1 TEL: 026-251-0305

新潟/〒950-2033 新潟県新潟市西区亀貝3382 TEL: 025-260-2898

大好評

### 『ALSケアガイド』（補遺版つき）

### ご注文受け付けます！

これまでに、長野県支部だけでも250部以上お買い上げ頂きました。

大好評の「ALSケアガイド」（補遺版つき）のご注文を承ります。

昨今の課題である「第3号研修」「重度訪問介護」「災害対策」については補遺版で詳しく解説されています。「ALSケアガイド」本体と合わせて補遺版もご活用頂ければ幸いです。

★ALSケアガイド（本体・補遺版付き）・・・1冊 1500円（税込み）＋送料430円

ご希望の方は下記へご連絡ください。

長野県支部事務局 Tel 026-263-6335

Fax 026-243-8820

E-mail [als.naganoken@gmail.com](mailto:als.naganoken@gmail.com)



<ハイブリット開催>

現地 麻績村地域交流センター3階ホール

オンライン Zoom

## 令和8年度 総会議案書

第1号議案	令和7年度 長野県支部活動報告	R7年4/1~R8年3/31
令和7年度3月末 会員 69 名・特別会員(医師) 12名 合計 81名		
令和7年度は初めて南信地域で呼吸リハビリテーション研修会を開催、災害対策として4企業と協定を結び、EV車貸与事業を始めることができました。また、重度訪問介護の支給について当事者や支援者とともに行政に要望を提出、交渉しました。		
◎役員会 年9回 ◎総会&春の交流会 ◎秋の交流会 ◎3号研修事業 年2回 ◎呼吸リハビリテーション研修会 年1回 ◎おしゃべり広場 年5回 (5・7・9・12・2月) ◎県へ要望書提出・懇談会 ◎支部だより発行 年3回 (No.41/42/43) ◎災害時のEV車貸与事業 ◎支部機器貸し出し (PPSスイッチ・パーソナルコール・吸引器・ポータブル蓄電池・LICトレーナー・文字盤等)		
4月17日(土)	役員会① 麻績村地域交流センター&Zoom	
4月18日(金)	3号研修委員会 Zoom (金子・原山)	
4月27日(日)	HondaCars長野中央上高田店との懇談(太田・原山)	
5月9日(金)	支部だよりNo.41 発送	
5月15日(木)	安曇野Tさん宅訪問(原山)	
5月17日(土)	役員会② おしゃべり広場① Zoom 参加者17名	
5月20日(火)	長野市Kさん宅訪問(太田)	
5月24日(土)	難病連総会 長野市障害者福祉センター(中川・原山)	
5月31日(土)	定時社員総会 ウイング横浜・Zoom(代議員 鵜飼・理事 赤沼・原山)	
6月5日(木)	倫理法人会へ支部の取り組みをプレゼン(太田)	
6月14日(土)	総会&春の交流会 麻績村地域交流センター&Zoom (参加者 現地59名 オンライン52名) 短編映像「Because Time is Life」天野澄子監督 出演小林さゆり支部長 「長野版 自分をプレゼン!」倉島英子さん・田儀梓さん・赤沼さち子さん	
7月6日(日)	3号研修① 講義 基本研修1日目 長野市ふれあい福祉センター	
7月12日(土)	役員会③ おしゃべり広場② Zoom 参加者20名	
7月26日(土)	3号研修① 講義・演習・修了テスト 基本研修2日目 北部スポーツ・レクリエーションパーク	
7月31日(木)	北陸甲信越ブロック会議(原山)	
8月2日(土)	HondaCars松本南店との懇談(鵜飼)	
8月9日(土)	長野市Aさん宅訪問(太田・原山)	
8月23日(土)	役員会④ Zoom	
8月26日(火)	南信地区 呼吸リハビリ研修事前打ち合わせ(鵜飼・金子・原山)	
8月28日(木)	長野市Kさん宅訪問(原山)	
8月30日(土)	山ノ内Kさん宅訪問(太田・原山)	

9月6日(土)	支部だよりNo.42発行
9月8日(月)	長野市Aさん宅訪問(原山)
9月13日(土)	役員会⑤ おしゃべり広場③ Zoom 参加者16名
10月5日(土)	役員会⑥
10月16日(木)	臨時役員会
10月19日(日)	難病連主催 ピアサポート研修会 清泉大学東口キャンパス(原山)
11月3日(祝)	3号研修② 講義 基本研修1日目 長野市ふれあい福祉センター
11月8日(土)	<p><b>秋の交流会 佐久市公民館東地区館&amp;Zoom</b>  (現地参加 50名 オンライン参加 21名 合計71名)  講演テーマ 「東信地域における難病患者の災害対策」</p> <p>①「長野県としての難病患者の災害対策」 上田保健福祉事務所  「個別避難計画と福祉避難所の現状と課題」 佐久市福祉課</p> <p>②「具体的な災害対策の取り組み(事例発表)」  佐久総合病院指定居宅介護支援事業所 ケアマネジャー小林佳代氏  支部運営委員 太田貴文氏</p> <p>③「EV車貸与の取り組みについて」  ホンダカーズ長野中央</p>
11月9日(日)	第15回長野県難病ケアシンポジウム(原山)
11月16日(日)	全国支部担当者会議(中川・赤沼・中屋・原山)
11月24日(祝)	3号研修② 講義・演習・修了テスト 基本研修2日目 北部スポーツ・レクリエーションパーク
12月13日(土)	役員会⑦ おしゃべり広場④ Zoom 参加者20名
12月17日(水)	県へ要望書提出・懇談会 (小林さゆり支部長・金子・斎藤・鶴飼・赤沼・原山)
12月28日(日)	下條村Kさん宅訪問(原山)
1月10日(土)	飯田病院Kさん受診立ち会い・Hさん宅訪問(原山)
1月12日(祝)	支部だよりNo.43発送
1月16日(金)	メディホス茅野面談(原山)
1月31日(土)	役員会⑧ Zoom
2月2日(月)	Kさん相談面接(原山)
2月4日(水)	下條村へKさんの重度訪問介護についての要望書提出(原山)
2月7日(土)	おしゃべり広場⑤ 参加者48名(現地・飯田病院27名 Zoom21名)
2月8日(日)	<p><b>呼吸リハビリテーション研修会</b>(飯田市立病院 講義室AB)  参加者総勢55名(受講者41名+後援機関4名+協賛企業2名+役員8名)</p>
2月11日(祝)	Sさん宅訪問(中野市)(原山)
2月20日(金)	北陸甲信越ブロック会議(原山)
2月21日(土)	Sさん宅訪問(中野市)(太田・原山)
2月27日(金)	Kさん宅訪問(原山)
3月8日(土)	Sさん宅訪問(中野市)(太田・原山)
3月14日(土)	Sさん宅訪問(中野市)(太田)
3月15日(土)	役員会⑨ Zoom
3月20日(祝)	Oさん宅訪問(南箕輪村)(原山)

## 第2号議案

### 令和7年度 決算書

#### ①一般会計 決算

(R7年4月1日～R8年3月31日)

収入合計	682,657
支出合計	349,953
差引残高(次年度へ繰越)	332,704

#### 《収入の部》

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度より繰越金	251,663	251,663	0	
本部より助成	183,500	298,330	114,830	支部活動支援金10万円を含む
企業広告	75,000	80,000	5,000	企業広告等
雑収入	10,000	52,664	42,664	利子・寄付・ケアガイド売上等
合計	520,163	682,657	162,494	

#### 《支出の部》

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
交流会費(春)	20,000	10,000	△10,000	会場費
交流会費(秋)	20,000	5,000	△15,000	講師料
支部だより	85,000	103,278	18,278	印刷代等
研修費	10,000	0	△10,000	研修参加費・宿泊・交通費等
通信費	25,000	12,630	△12,370	発送代等
会議費	5,000	2,300	△2,700	役員会会場代
事務費	15,000	9,925	△5,075	事務用品・ATM手数料等
交通費	40,000	97,715	57,715	役員交通費
おしゃべり広場	5,000	0	△5,000	
ボランティア保険	4,200	4,550	350	350円/人×13人(役員)
特別会計繰出金	50,000	50,000	0	
ホームページ管理料	36,300	36,300	0	
呼吸リハビリ研修事業へ繰り出し	55,000	0	△55,000	
予備費	149,663	18,255	△131,408	ケアガイド購入代・電報・難病連負担金等
合計	520,163	349,953	△170,210	

#### ②つぶやき基金 (単位：円)

前年度繰越金	190,008
利子	320
収入合計	190,328
支出	0
差引残高	190,328

#### ③記念事業特別会計 (単位：円)

前年度繰越金	97,230
一般会計より繰入金	50,000
利子	177
収入合計	147,407
支出	0
差引残高	147,407

第2号議案

(R7年4月1日～R8年3月31日)

④ R7年度 喀痰吸引等研修事業決算

(単位：円)

収入合計	452,534
支出合計	205,235
差引残高 (次年度へ繰越)	247,299

《収入の部》

(単位：円)

大項目	中項目	予算	決算	増減	摘要
前年度繰越金		216,131	216,131	0	
受講料	基本研修受講料	200,000	180,000	-20,000	20,000×9人
	実地研修受講料	30,000	36,000	6,000	3,000×12人 (R6年度の受講生分含む)
テキスト代	受講生テキスト購入	20,000	18,000	-2,000	2,000×9人
その他 (寄付・利子等)		0	2,403	2,403	利子他
合計		466,131	452,534	-13,597	

《支出の部》

(単位：円)

大項目	中項目	予算	決算	増減	摘要
人件費	事務人件費	20,000	10,000	-10,000	事務補助1人辞職
	受付 試験対応	40,000	40,000	0	5,000円×4日間×2人
	講師謝金	140,000	135,000	-5,000	講師7人分×研修2回分+補講
会場費	会場使用料・冷暖房	10,000	7,440	-2,560	
事務費	テキスト購入代	0	0	0	
	通信費(郵送代)	10,000	9,402	-598	テキスト郵送代等
	備品・消耗品費	10,000	3,393	-6,607	修了証書・コピー代等
備品		90,000	0	-90,000	Zoom配信に使用する機器(購入なし)
予備費		146,131	0	-146,131	
合計		466,131	205,235	-260,896	

## 令和7年度 呼吸リハビリテーション研修会決算

### 決算

(単位:円)

収入合計	362,277
支出合計	331,041
差引残高 (次年度へ繰越)	31,236

### 《収入の部》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度より繰越金	26,932	26,977	0	R7年度利息: 45円
参加費	80,000	95,000	15,000	参加者41名 会員8名 (1,000円×3=8,000円) 非会員29名 (3,000円×30人=87,000円) 後援等関係者4名 (参加費免除)
赤い羽根助成金	203,000	203,000	0	
一般会計から繰り入れ	55,000	37,300		日本ALS協会助成金から役員交通費として
合計	364,932	362,277	15,000	

### 《支出の部》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減	摘要
講師謝金 (講義分)	10,000	10,000	0	
講師謝金 (実技分)	20,000	20,000	0	
講師謝金 (相談会分)	10,000	10,000	0	
講師交通費 (2人分)	40,000	60,000	20,000	
講師宿泊費 (2人分)	20,000	17,380	△ 2,620	
研修会昼食弁当	2,000	1,600	△ 400	講師2人
懇親会費 (講師2人分)	12,000	12,000	0	
ボランティア宿泊費	80,000	70,400	△ 9,600	ボランティア7人分
ボランティア交通費	35,000	37,300	2,300	
会場使用料	10,000	0	△ 10,000	
暖房使用料	5,000	0	△ 5,000	
テキスト代	25,000	20,801	△ 4,199	
封筒	2,000	660	△ 1,340	郵送封筒
郵便代	21,000	8,050	△ 12,950	
アンケート・チラシ印刷	5,000	0	△ 5,000	
マスク・フィルター費	37,200	58,850	21,650	代金58,080円+振込手数料770円
予備費	30,732	4,000	△ 26,732	WiFiレンタル料
合計	364,932	331,041	△ 33,891	

### 会計監査報告書

R8年 4月 18日

日本ALS協会長野県支部 支部長 小林さゆり殿

日本ALS協会長野県支部の令和7年度①一般会計②つぶやき基金特別会計③記念事業特別会計④喀痰吸引等研修事業⑤呼吸リハビリ研修事業 (R7年4月1日～R8年3月31日) の決算書類について監査した結果、決算書類、帳簿、伝票等、いずれも適正に作成、処理されていることを確認いたしました。

日本ALS協会長野県支部  
会計監査 斎藤稔 (原本に押印済み)

第3号議案

令和8年度 役員人事（案）

敬称略

支部長	小林さゆり	当事者（長野市在住）	
副支部長	塚田洋子	当事者（長野市在住）	
	中川真人	鹿教湯病院 作業療法士（松本市在住）	
事務局長	原山あかね	居宅介護支援事業所手と手 介護支援専門員（長野市在住）	
事務局次長	金子弘美	訪問看護ステーション嫩草 看護師（長野市在住）	
会計	池上絢野	三沢介護院 重度訪問介護ヘルパー/看護師（松本市在住）	
会計監査	中屋遥	信州大学大学院（松本市在住） 信州大学医学部付属病院 理学療法士	
運営委員	東信	堀 由香里	遺族（佐久市在住）
		傳田睦美	当事者（上田市在住）
	中信	萩原はるか	信州大学医学部外科学教室 外科専攻医（松本市在住）
		赤沼さち子	当事者（松本市在住）
	北信	鵜飼正二	相澤病院 理学療法士（松本市在住） *2025～2026年度 日本ALS協会代議員
		斎藤稔	遺族（須坂市在住）
		太田貴文	訪問看護ステーションあゆみ 作業療法士（長野市在住）
		田儀梓	当事者（長野市在住）
		顧問	関島良樹
顧問	中村昭則	独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター 特命副院長、臨床研究部長	
顧問	日根野晃代	信州大学医学部附属病院信州診療連携センター 難病診療連携コーディネーター	
顧問	両角由里	長野県難病相談支援センター難病相談支援員	
顧問	小林千夏	佐久総合病院脳神経内科部長	
顧問	田澤浩一	長野赤十字病院神経内科部長	
顧問	三木 淳	三木クリニック院長	
顧問	武井洋一	独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター院長	
顧問	桃井浩樹	飯田市立病院副院長・脳神経内科	
顧問	近藤清彦	脳神経内科医 日本ALS協会「ALS基金」研究奨励金選考委員	

\*日本ALS協会の代議員は、都道府県支部ごとに正会員100人の中から一人の割合をもって選出することとなっている。任期は2年。

## 第4号議案

### 令和8年度 長野県支部活動方針と活動計画（案）

日本 ALS 協会の活動方針を踏まえた上で、ボランティア団体として当事者及び家族・支援者のみなさんとの交流や支援などの活動を行います。

#### 1 交流会・研修会等の開催

- \* 交流会の開催（年2回） 当事者・家族・支援者の交流を深め、支援に繋がります。
- \* 「おしゃべり広場」の開催（年5回） 定期的な情報交換や交流の場を提供するため、web を活用した気楽な交流の機会を作ります。
- \* 喀痰吸引等研修事業の開催 喀痰吸引等が必要な当事者の療養支援が行えるよう、県の登録研修機関として研修事業を行います。
- \* 呼吸リハビリテーション研修会の開催 呼吸リハビリテーションの啓発・普及・拡充を図ります

#### 2 県への要望書提出・懇談

ALS の療養環境の改善などの要望を提出すると共に、県と懇談の機会を持ち当事者の療養環境への理解と支援を求めています。

#### 3 当事者・家族への個別支援

発症間もない方や新たに会員になった方、外出できない方の自宅や入院先を訪問し、個別の相談に応じ、制度やサービス、支部活動について情報提供を行い支援に繋がります。

#### 4 関係機関・関係者との連携

難病診療連携コーディネーター（信大病院信州診療連携センター難病診療部門）、難病相談支援センター相談員、保健福祉事務所、医療機関の医師や医療ソーシャルワーカー、障害相談支援専門員、重度訪問介護支援コーディネーター、介護支援専門員等と連携を図りながら支援を進めます。

#### 5 コミュニケーション機器・非常用電源・吸引器・L I C トレーナー等の貸し出し事業

支部の備品・機器を貸し出し、お試しを通じて活用につながります。

#### 6 災害対策への取り組み

- \* EV車貸与事業・・4 企業と協定を結び、災害時にEV車をお借りし電源確保できるようにする。
- \* 個別避難計画・在宅避難等への助言、情報提供、協力。

#### 7 関係団体の交流会や研修会への参加

- \* 保健福祉事務所や他団体主催の患者交流会へ参加・交流し、支部のPR 活動を行います。
- \* ALS 支援に必要な研修等へ参加し、療養支援に生かすと共に、当事者や関係者の方にも研修等への参加を呼びかけていきます。

#### 8 情報発信

- \* 未入会の当事者・家族、専門職に入会を呼びかけます。
- \* 支部だよりを年3回発行し、会員への情報提供と支部活動を紹介していきます。
- \* 長野県支部のホームページに情報を掲載、随時更新していきます。

<https://als-nagano.jp>

令和8年度 年間活動計画案

	役員会・総会・交流会		おしゃべり広場 (年5回)	3号研修 (基本研修年2回・実地研修適宜)	呼吸リハビリ研修	支部だより (年3回発行)
4月	役員会①	・総会議案書・交流会の打ち合わせ ・支部だより原稿確認 ・3号研修・呼吸リハビリ研修 他		1回目 3号研修委員会開催		
5月	役員会②	・総会・交流会役割分担等最終打ち合わせ ・3号研修・呼吸リハビリ研修 他	5/16 (土) おしゃべり広場①	1回目 受講生募集開始		支部だより①
6月	総会&交流会 6/13 (土)	場所：麻績村地域交流センター3階ホール 内容：コミュニケーションの極意を考える ハイテクコミュニケーションについて 中川真人氏 ローテクコミュニケーションについて 太田貴文氏・赤沼さち子氏 意思伝達装置等展示・説明 (株) 麻屋家具製作所 (株) クレアクト		↓		
7月	役員会③	・秋の交流会について ・支部だより原稿確認 ・3号研修・呼吸リハビリ研修 ・県への要望書 他	7/11 (土) おしゃべり広場②	1回目 3号研修実施 7/12 (日) 講義 7/25 (土) 講義・演習・修了テスト		
8月				2回目 3号研修委員会開催		
9月	役員会④	・秋の交流会役割分担等最終打ち合わせ ・3号研修・呼吸リハビリ研修 ・県への要望書 他	9/12 (土) おしゃべり広場③	2回目受講生募集開始		支部だより②
10月	秋の交流会	<秋の交流会> 場所： 内容：		↓		
11月	役員会⑤	・3号研修・呼吸リハビリ研修 ・災害対策について・支部だより原稿確認 ・県への要望書 他		2回目 3号研修実施		
12月	役員会⑥ 県へ要望書提出	・呼吸リハビリ研修 支部だより原稿確認	12/12 (土) おしゃべり広場④		案内送付・受講生募集	
1月	役員会⑦	・呼吸リハビリ研修最終打ち合わせ				支部だより③
2月			2/6 (土) おしゃべり広場⑤		2/7 (日) 呼吸リハビリ研修会	
3月	役員会⑧	・来年度の計画策定				

第5号議案

令和8年度 予算①～⑤ (案)

①一般会計 予算

(R8年4月1日～R9年3月31日)

《収入の部》

(単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度より繰越金	332,704	251,663	81,041	
本部より助成	184,500	183,500	1,000	500円×会員数(69名)
企業広告	75,000	75,000	0	企業広告等
雑収入	120,000	10,000	110,000	利子・10万円寄付(4/1)・ケアガイド売上等
合計	712,204	520,163	192,041	

《支出の部》

(単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
交流会費(春)	20,000	20,000	0	講師料.会場費
交流会費(秋)	20,000	20,000	0	講師料.会場費
支部だより	100,000	85,000	15,000	年3回発行の印刷代等
研修費	10,000	10,000	0	研修参加費・宿泊・交通費等
通信費	25,000	25,000	0	発送代等
会議費	5,000	5,000	0	役員会会場代
事務費	15,000	15,000	0	コピー代・事務用品等
交通費	100,000	40,000	60,000	役員交通費
おしゃべり広場	5,000	5,000	0	会場費
ボランティア保険	4,550	4,200	350	350円/1人×13人(役員)
特別会計繰出金	50,000	50,000	0	
ホームページ管理料	36,300	36,300	0	
呼吸リハビリ研修事業へ繰り出し	0	55,000	△55,000	今年度は県の補助金を活用するため繰り出しなし
予備費	321,354	149,663	171,691	
合計	712,204	520,163	192,041	

② つぶやき基金予算 (単位：円)

前年度繰越金	190,328
収入	0
支出	0
差引残高	190,328

③ 記念事業特別会計予算 (単位：円)

前年度繰越金	147,407
一般会計より繰入金	50,000
支出	0
差引残高	197,407

## 第5号議案

### ④ 令和8年度 喀痰吸引等研修事業予算（案）

令和8年4/1～令和9年3/31

#### 【収入】

大項目	中項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
	前年度繰越金	247,299	216,131	-31,168	
受講料	基本研修受講料	200,000	200,000	0	20,000円×受講生10人
	実地研修受講料	30,000	30,000	0	3,000円×受講生10人
テキスト代	テキスト代+郵送代	20,000	20,000	0	2,000円×受講生10人
合計		497,299	466,131	-31,168	

#### 【支出】

大項目	中項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
人件費	事務人件費	10,000	20,000	0	10,000円×2人
	研修受付・試験対応	40,000	40,000	0	1回5,000円×2人×4日分
	講師謝金	140,000	140,000	0	講師7名分×2回+補講
会場費	会場使用料	10,000	10,000	0	会場費+冷暖房費+講師駐車場代
事務費	テキスト購入代	35,000	0	35,000	テキスト購入予定
	通信費（郵送代）	10,000	10,000	0	
	備品・消耗品費	10,000	10,000	0	コピー代等
備品		0	90,000		
予備費		242,299	146,131	96,879	
合計		497,299	466,131	57,879	

第5号議案

⑤令和8年度 呼吸リハビリテーション研修会予算

【収入】

大項目	中項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越金		31,236	26,932	4,304	
参加者負担金	一般参加費	75,000	75,000	0	1人：3,000円 3,000円×25人=75,000円
	会員参加費	5,000	5,000	0	1人：1,000円 5人参加の場合5,000円
助成金	赤い羽根助成金	194,000	203,000	-9,000	
	その他助成金	141,300	64,250	64,250	R8年度は県からの助成金を予定 役員交通費、宿泊費、通信費
一般会計から繰り入れ		0	55,000	55,000	日本ALS協会助成金から役員交通費として
合計		446,536	429,182	17,354	

【支出】

大項目	中項目	今年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
講師関係費用	講師謝金（講義分）	10,000	10,000	0	寄本PT：10,000円
	講師謝金（実技分）	20,000	20,000	0	寄本PT：10,000円 有明PT：10,000円
	講師謝金（相談会）	10,000	10,000	0	寄本PT：5,000円 有明PT：5,000円
	講師交通費（2人分）	40,000	40,000	0	寄本PT：20,000円 有明PT：20,000円
	講師宿泊費（2人分）	20,000	20,000	0	10,000円×2=20,000円
	研修会昼食弁当（2人分）	2,000	2,000	0	1人：1,000円（講師2人分）
	懇親会費（2人分）	12,000	12,000	0	1人：6,000円 6,000円×2=12,000円
人的経費	役員交通費	24,300	35,000	-10,700	長野-上田：3台分 松本-上田：4台分
	役員宿泊費	80,000	80,000	0	10,000円×8人=80,000円
会場費	会場使用料	10,000	10,000	0	
	暖房使用料	5,000	5,000	0	
事務費	テキスト代	25,000	25,000	0	ラスクル30部普通紙
	封筒	2,000	2,000	0	アンケート・チラシ送付用
	郵便・通信費	21,000	21,000	0	アンケート・チラシ郵送費
	アンケート・チラシ印刷	5,000	5,000	0	アンケート60部 チラシ350部
	実技演習用マスク	21,600	21,600	0	720円×30個=21,600円
	実習演習用 バクテリアフィルター	15,600	15,600	0	520円×30個=15,600円
備品	L I C トレーナー	64,500	64,250	250	LIC トレーナーセット
予備費		58,536	30,732	27,804	
合計		446,536	429,182	17,354	

令和 8 年 6 月 13 日(土)の総会に欠席される会員の方は

右の QR コードか下記にご記入ください。



令和 8 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 氏名 \_\_\_\_\_

総会議長宛 ①～③いずれかの□にレ点をつけてください

①  書面表決をします。(定款 13 条)

第 1 号議案 令和 7 年度 活動報告  賛成  反対

第 2 号議案 令和 7 年度 決算・会計監査報告  賛成  反対

第 3 号議案 令和 8 年度 役員人事 (案)  賛成  反対

第 4 号議案 令和 8 年度 活動方針・活動計画 (案)  賛成  反対

第 5 号議案 令和 8 年度 予算 (案)  賛成  反対

②  次の代理人(総会出席)に全ての議案表決を委任します。

(代理人氏名) \_\_\_\_\_

③  議長に全ての議案表決を委任します。

\* ご意見がございましたらご記入ください

日本 ALS 協会長野県支部事務局 (原山) 行

TEL 026-263-6335

FAX 026-243-8820

E-mail akane\_harayama@tetote7107.org

提出期限 令和 8 年 6 月 6 日 (土)

